

作新学院大学 ティーチング・ポートフォリオ

所属	氏名	作成日
経営学部スポーツマネジメント学科	小寺 美沙季	2024年5月1日

【責務】(何をおこなっているのか/担当授業科目その他)

【前期】

基礎ゼミナール1e
研究ゼミナール1
研究ゼミナール3
研究ゼミナール5
プレインターンシップ
スポーツ科学実技 A1
健康・スポーツ概論
健康・スポーツ概論 I
ヒューマンリソース・マネジメント A
キャリアデザイン2

【後期】

基礎ゼミナール2e
研究ゼミナール2
研究ゼミナール4
研究ゼミナール6
スポーツ科学実技 A2
ヒューマンリソース・マネジメント B
キャリアデザイン2
スタディスキル A

【理念】(どのような考えに基づいて行っているか)

様々な教育活動を通じて、学生一人ひとりが持つ個性や能力を最大限に引き出すことを目指す。
学生が主体的に自分で新しい問題を設定し、その問題の解決策を導き、学んだ内容を深く理解できるだけでなく、情報収集能力や課題発見能力、課題解決能力など様々な能力を身につけることを目標とする。「作新民」を建学の精神として「時代の変化にきちんと対応し、自らを常に新しくできる人材を育てること」の教育目標に基づき教育活動を実践する。卒業後の様々な組織で活躍できるよう、仕事で生きる力を養えるような学びを提供する。

【方法】(その考えをどうやって実現しているか)

講義科目については、学生への一方的な教授ではなく、学生の意見を織り交ぜつつ、授業の積極的な参加ができるよう心がけている。そのために、授業終了後には、リアクションペーパーに簡単な課題と授業の感想を記入させ、その内容を次回の授業冒頭に一部講評するなど、学生と積極的にコミュニケーションを図るよう意識している。

特に、キャリア教育科目については、職場とはどのような場所であり、働くとはどのようなことなのか、社会人として活躍するために必要とされる能力は何なのか学びが得られるよう工夫している。

その他、ゼミナール科目については、4年次の卒業論文の作成に向けて、研究発表とグループディスカッションを繰り返し行っている。それにより、情報収集能力や課題発見能力、課題解決能力を身に付け、学生同士が互いに学び合う環境を整えることを目指している。

【成果】(その方法を行った結果、どうなったか、どうだったか。自身の感想・具体的な成果物・学生からのコメントなど)

上記の方法により、学生の授業の積極的な参加がみられ、授業終了後のリアクションペーパーのコメントも授業の理解度が増している様子が伺える。

研究ゼミナールにおいては、学生同士が互いに学び合う環境を整えることにより、学生たちの授業への参加意欲が高まりった。また、発表資料の工夫やディスカッションが活発となり、学生たちの成長を感じている。

【目標】(今後どうするか)

今後も、学生一人ひとりが持つ個性や能力を最大限に引き出せるような教育活動に取り組みたい。
学生一人ひとりのニーズに応じたサポートを提供することで、更なる学習意欲の向上を目指したい。